

作業名	雑木林モデル林整備	担当者1	林 将之
		担当者2	

目的 森林の将来像も書いて下さい。	萌芽更新を行う元来の薪炭林を再現し、雑木林モデル林として管理・利用する。 生物多様性を保ち、体験学校や環境教育の場として活用する。 約15年周期を目安に対象地を半分ずつ皆伐し、発生した材や落ち葉は薪炭、きのこ栽培、木工等、その他に積極的に利用する。
----------------------	--

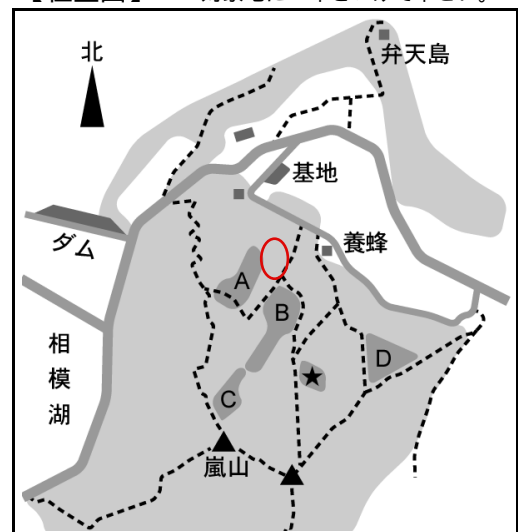
主な作業者	緑のダム学校 生態系調査班 森林整備班 ガーデニング班	期間	2004年2月～
-------	--------------------------------------	----	----------

作業内容とスケジュール	萌芽枝や実生株の間引き(もやかき)：必要に応じて年1回程度 ヌルデやカラスザンショウ等の早成樹の除伐：必要に応じて 下草・ササ刈り：毎年夏に1～2回 動植物のモニタリング調査：毎年1回
-------------	---

【森林情報】 必要に応じて森林簿を参照して下さい。

場所	嵐山・小原・他()
森の通称名	雑木林モデル林
小班(ポリゴン)	445-2
およその面積	0.2ha
林の種類	人工林・天然林・他()
主な樹種	コナラ
林齢	6年
平均樹高	5m
所有者	鈴木さん

【位置図】 対象地に印をつけて下さい。



【チェック項目】 適合項目に印をつけて下さい。

	保安林の規制はクリアしていますか？
区域外	県立自然公園の規制はクリアしていますか？
要配慮	貴重な動植物への配慮はしていますか？
	沢の環境への配慮はしていますか？
	文化的財産への配慮はしていますか？
	作業安全上の配慮はしていますか？
	近隣住民や関係者への配慮はしていますか？
	境界線ははっきりしていますか？
	全体の森づくり計画に合致していますか？

【備考】

・林内には貴重な山野草が生育している可能性もあるので、作業時にはむやみに踏み歩かないよう注意が必要。
・落ち葉やソダは、カブトムシ養殖等に利用を検討。
(2006年3月15日修正)